

目指すべき方向性

量と質の双方の確保を目指して放課後児童クラブを展開していく方向性は、
国も地方も同じ。

【目指すべき方向性、目標】

子育てと仕事の両立支援

待機児童の解消

国

ニッポン一億総活躍プラン
働き方改革実行計画

地方

地方の実情に応じた対応
基準の廃止又は参酌化

【岐阜県本巢市】

提案番号 104 放課後児童支援員の配置数の緩和

1. 提案の背景

根尾地域には全校生徒30名程度の小学校1校があり、以前から開設を要望する意見がありました。平成26年度にニーズ調査を実施し、約3割(10人)の要望があり、平成27年度に学校の空き教室を整備し、平成28年4月から開設しました。

ニーズ調査の結果10名程度の利用申し込みがあると想定し開設しましたが、実際1人の利用者しかおらず、支援員については基準どおり2名の配置をしております。

そのため運営コストもかかり、夏季休業日は交代勤務となるため支援員の募集を行っていますが、根尾地域の生産年齢人口が少なく地域内での人材確保が難しく、また他地域からの確保も困難な状態です。

■本巢市内 各地域の生産年齢人口について(H28.3)

単位：人

	根尾地域	本巢地域	糸貫地域	真正地域	合計
65歳以上	771	2,449	3,234	3,165	9,619
生産年齢人口	666	4,433	7,119	8,274	20,492
15歳未満	77	915	1,678	2,239	4,909

※生産年齢人口(15歳以上65歳未満人口)

2. 地域における課題

根尾地域は、特定農山村法、山村振興法、豪雪地帯対策特別措置法、辺地に係る公共的施設の総合整備のための特別措置法に関する法律が適用される中山間地域であり、アクセスが悪く遠方となるため他地域から通って放課後児童クラブで勤務することが難しく、また他地域の放課後児童クラブへ通うことも困難です。

■各教室の移動距離

- 根尾小 ～ 外山小 約 14 km
(約 20 分)
- ～ 本巢小 約 22 km
(約 30 分)
- ～ 糸貫地域 約 25 km
- ～ 真正地域 約 30 km



撮影箇所：本巢市役所根尾分庁舎付近

3. 具体的な支障事例

現行制度の支援員2人の体制では、人材確保が困難であるため当地区の放課後児童クラブの運営継続が困難な状況です。

人員の確保が難しい状況で、夏季休業日（8：00～18：00）に、午前と午後で計4人の支援員を配置することは支援員にかなりの負担を強いる状況にあります。

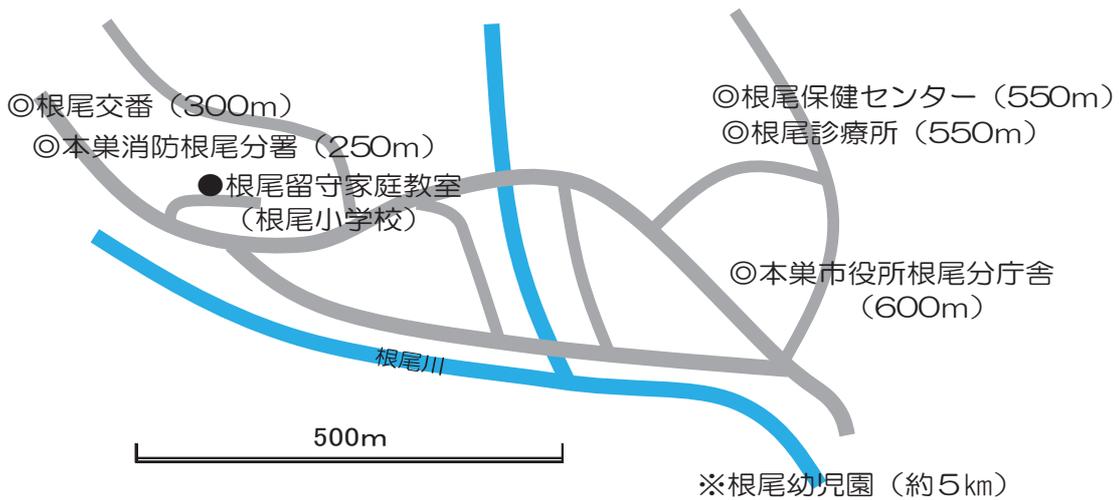
■放課後子ども教室（ねおっ子チャレンジクラブ）※他のサービス

年間5回開催（5月、6月、9月、10月2回）のため、継続的な受け入れが不可能。

4. 提案実現後

放課後児童支援員1名の配置で放課後児童クラブを実施した場合、当放課後児童クラブは学校敷地内で実施しており、学校教職員との連携が可能です。また、夏季休業日など学校職員が不在の場合も、近隣に市役所の分庁舎、保健センター、消防署などがあり、連携をとることで緊急時などサービスの質を下げることなく対応することが可能です。

■概略図



■配置図



**提案番号105
放課後児童クラブの職員配置要件の緩和**

平成29年7月18日(火)

中津川市

岐阜県 中津川市

人口: 79,793 人

総面積: 676.45 km²

<平成以降の合併> H17.2.13
中津川市、坂下町、川上村、加子
母村、付知町、福岡町、蛭川村、
長野県山口村

2027年リニア中央新幹線
東京-名古屋間開業
リニア岐阜県駅・中部総合車両基地設置



放課後児童クラブの職員配置要件の緩和について

提案の背景①

子どもが少ない地域のニーズと人材確保困難な状況

- ▲1市3町4村の合併から10年以上が経過し、人口減少、少子化による地域偏在が一層深刻化している。
- ▲地域資源も限られており、公共施設等の集約化も進んでいる。
- ▲市内13地域のうち年間出生数1桁の地域が複数でてきている。
- ▲労働人口も少ない地域では、支援員が確保できない。
- ▲子ども・子育て支援事業計画に定めた「未設置地域の解消」が進まない。
- ▲支援員が確保出来ないため、放課後こども教室や公民館図書室を使って放課後の居場所としている（集落支援員・ボランティア）

提案の背景②

ニーズが高い地域における人材確保困難な状況

- ▲有効求人倍率の上昇→パートの充足率低下が顕著（対前年▲11.7ポイント）
※H29/1有効求人倍率は2.05倍までになった
- ▲出生数は大きく減少しているのに、未満児保育は上昇、潜在待機児童も出てきている。
- ▲支援員の勤務シフトが組めず、休みも取れない。
夏休みの長時間勤務も支援員の負担が大きい。
- ▲分割して3つのクラブを運営するが勤務ローテーションが組めないため一部を閉鎖しての合同保育→合同保育により支援員を減員すると開所扱いとならず250日を満たせない。
- ▲以前は地元の大學生が来てくれていたが、他の単価が高く、夜まで働ける方へ流れた。
※応募が欲しいのは15時～17時の2時間のピーク時間で労働ニーズに合わない。

現況・支障

★サービスの質の担保(1) ……

近接する公共等の地域資源（人）の有効活用、連携

★サービスの質の担保(2) ……

近接した放課後児童クラブ間の巡回支援制度の導入（巡回支援指導員など）

★サービスの質の担保(3) ……

利用児童の地域事情に応じたフレックスタイム（コア～フレキシブル）の導入

放課後児童クラブの職員配置要件の緩和(提案実現後)イメージ

パターン1
地域資源(人)の有効活用、連携

パターン2
巡回支援(フレックスタイムも想定)

